

# 四国の国有林

剣山(徳島県)



千本山(高知県)



石鎚山(愛媛県)



四国森林管理局



屋島(香川県)

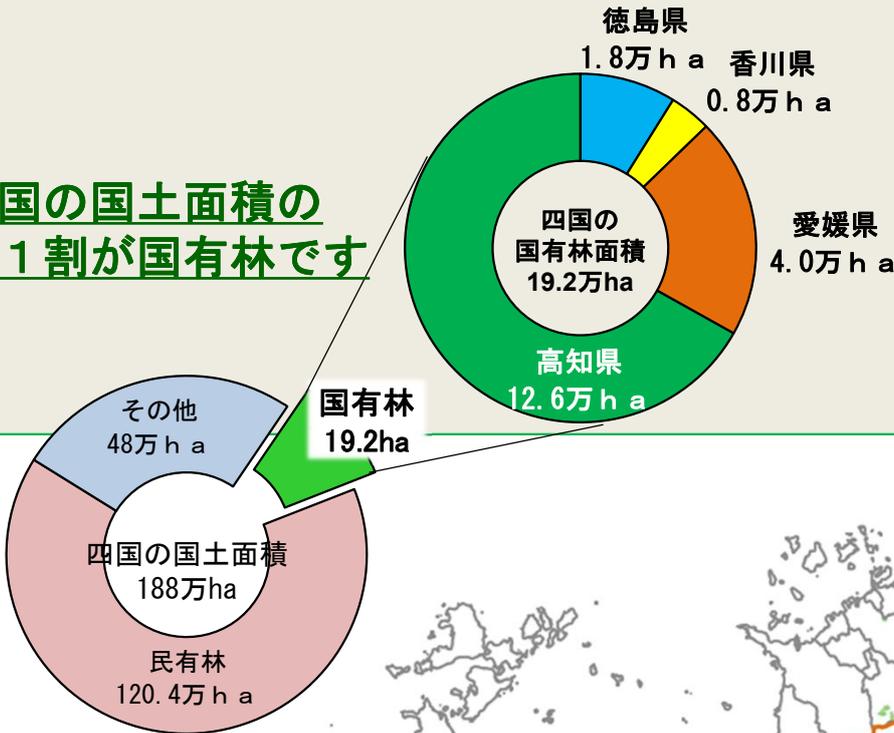


# 四国の国有林の特徴

国有林野は、我が国の森林の約3割（国土の約2割）に相当します。奥地脊梁山地や水源地域に広く分布し、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全などの重要な公益的機能の発揮が期待されており、約9割が保安林に指定されています。

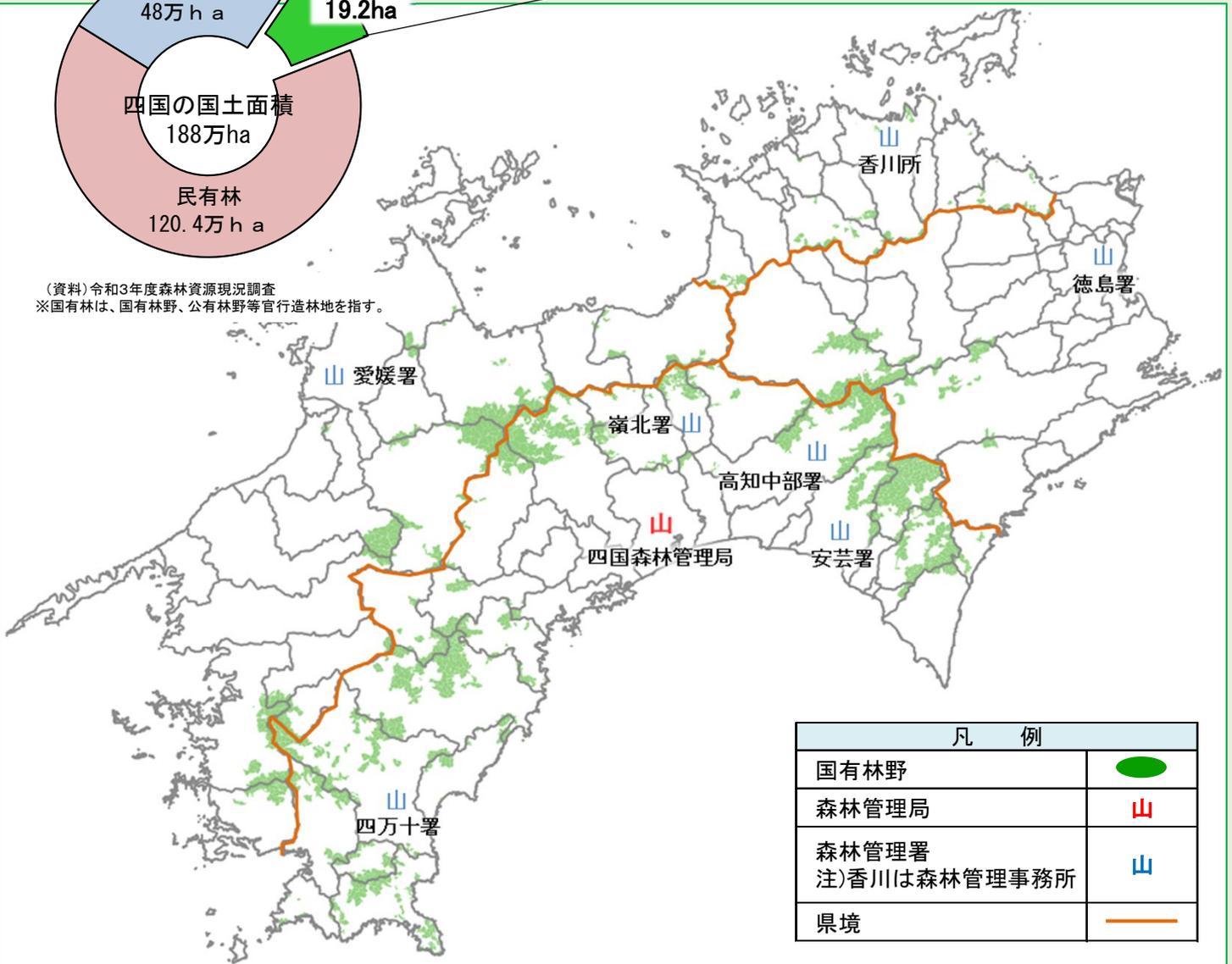
四国森林管理局が管理経営する国有林は約19万haで、四国の国土面積の10%（森林面積の13%）を占めています。温暖な気候や豊富な降水に恵まれ、藩政・明治時代から植林が進められてきたことから、国有林の約7割がスギ、ヒノキを主体とする人工林となっています。

## 四国の国土面積の約1割が国有林です



白髪山(高知県)

(資料)令和3年度森林資源現況調査  
※国有林は、国有林野、公有林野等官行造林地を指す。





# もり 森林づくりの考え方

森林には、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全など多様な機能があり、これらは重なり合って発揮されています。

四国森林管理局では、重視する機能を応じ、森林を4タイプに区分し、管理経営を行っています。

## 水源涵養タイプ

水資源を蓄え、良質な水を供給する機能を重視して森林を守り育てます。



## 山地災害防止タイプ

山崩れなどの災害を防止する機能を重視して森林を守り育てます。



## 森林空間利用タイプ

森林レクリエーションなど森林とのふれあいの場としての機能を重視して森林を守り育てます。

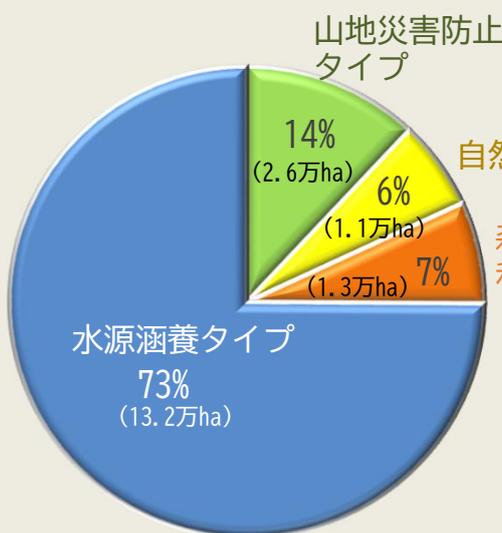


## 自然維持タイプ

## 森林空間利用タイプ

## 自然維持タイプ

森林生態系の保全や貴重な野生生物の保護など自然環境を維持する機能を重視して森林を守り育てます。



機能別森林面積

(資料) 国有林野施業実施計画 (令和6年4月1日現在有効)  
(注1) 森林面積は国有林野面積 (18.2万ha) (公有林野等官行造林地を含まない。)  
(注2) 四捨五入により計が一致しない場合がある。

## 多様で健全な森林づくり

国土の保全、水源の涵養、地球温暖化防止、林産物の供給など、森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、多様で健全な森林への誘導を推進しています。

単一の樹冠層で構成される森林 (単層林) の維持だけでなく、林齢や樹種、高さの異なる複層状態の森林 (複層林) や針葉樹と広葉樹が混交した針広混交林への誘導など多様な森林づくりを行っています。





# 木材を安定して供給する

四国森林管理局は四国全体の木材生産の1割強に当たる木材を供給しています。

## 計画的な木材生産と販売

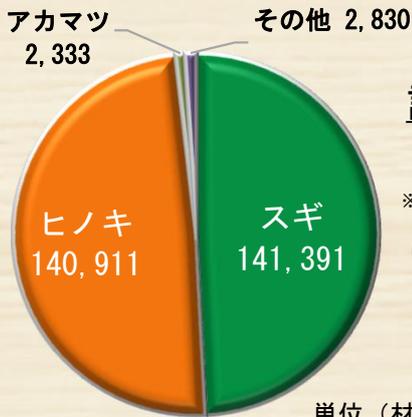
### 原木市場の様子

管内の需要状況の把握を行いつつ、木材を生産・販売しています。



### 四国の国有林における樹種別伐採量(令和3年度)

※令和4年四国森林管理局事業統計書より



計 : 287,466 m³

※ 以下の数量を除く

- ・事業支障木等の伐採であって当年度に販売を行わないもの
- ・分収造林の民取分
- ・分収育林に係るもの
- ・林野、土地とともに売り払ったもの

単位 (材積 : m³)

## 文化財資源備蓄林の設定

文化財などの木造建築物や伝統的建築様式の伝承等に必要な木材を生産する森林を設けています。



文化財資源備蓄林 (高知県安芸市)



修復資材使用例 こうのみねじ (四国八十八カ所第二十七番札所神峯寺)

## 祖谷のかずら橋かけかえ資材の供給

国指定重要有形民俗文化財の「かずら橋」かけかえ用資材のシラクチカズラを供給しています。



地元中学生によるシラクチカズラの挿し木



(徳島県三好市)



# グリーン成長への貢献

国有林では、先端技術を活用した効率的な森林管理・木材生産手法の開発・実証・普及を推進しています。

森林を低コストで整備するため民有林と連携したり、民間に先駆けて新しい技術を導入するなどの取組を行っています。

## 高効率な作業システム

低コストで効率的な間伐の推進に向けて、路網と高性能林業機械を組み合わせた作業システムを積極的に導入しています。



造材（プロセッサ）



運材（フォワーダ）

## コンテナ苗やエリートツリーの活用

### コンテナ苗



根の活着が良く植栽時期を選ばない、容器入りの苗木を使って植林をしています。

### エリートツリー

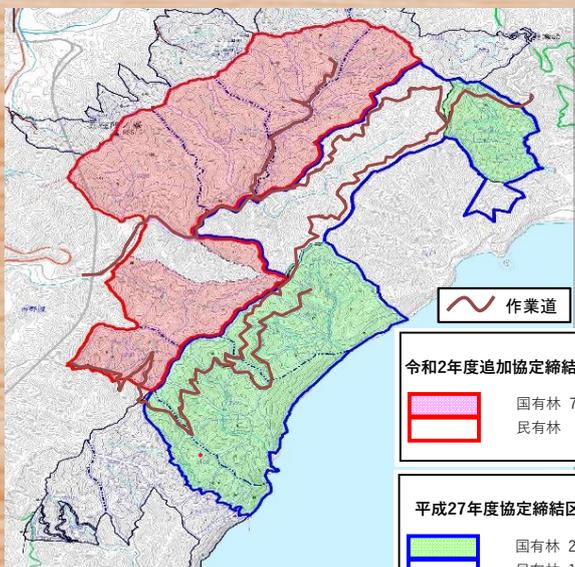


品種改良により通常の苗木より初期生長の早い成長力を持つ苗木を使って植林をしています。



## 共同施業団地の設定

隣接する民有林と協定を締結し、連携して作業道の整備や間伐などを行っています。



四十万森林管理署管内の森林整備推進協定

## ICTの活用

各種事業の実施状況や災害発生時等の迅速な現地状況の確認等にドローン、森林GIS等のICTを活用し、業務の効率化を推進しています。



四国森林管理局で導入しているドローン



ドローンを活用した鹿防護柵の巡視



## 木材の利用をふやす

木材は地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収固定する、再生可能な地球に優しい素材です。管内にはCLT建築物もあり、木材を積極的に使っています。

### 新たな木材製品・技術による木材の利用



国の庁舎整備で初めて本格的にCLTパネル工法を採用した嶺北森林管理署庁舎

壁面にCLTを使用  
(安芸森林管理署 野友・北川、安倉合同森林事務所)



### 間伐材の利用

間伐材を使った治山・林道工事も行っています。



木製型枠を使用した谷止工



谷止工の木製枠組立状況



林道に施行した木柵工





# 地域の暮らしをまもる

災害に強く安心して暮らせる地域づくりのため、必要に応じ樹木の伐採を制限したり、土砂崩れや地すべりを防ぐ工事を行っています。

## 保安林の設定

### 保安林の種類別面積

種類	面積(千ha)
水源かん養	161
土砂流出防備	7
その他	2
計	171

国有林の93%,  
170,572haを保安  
林に設定し、伐  
採を制限してい  
ます。

(※ 令和4年4月1日時点)



水源かん養保安林 (高知県香美市)

## 地すべりの防止

地すべり発生の危険がある地域で地盤の動きを常時監視したり、地すべりを防止するための工事を行います。



地すべり被害状況 (徳島県三好市)

## 治山事業の実施

土砂崩れで崩壊した山腹の復旧緑化や災害を防ぐダムを設置を行っています。



(徳島県那賀町)

木材を  
利用した  
治山ダム





# 貴重な森林や生態系をまもる

原生的な天然林や希少な野生生物が生育・生息する森林は、保護・管理して多様な生態系を保全しています。

## 保護林の設定

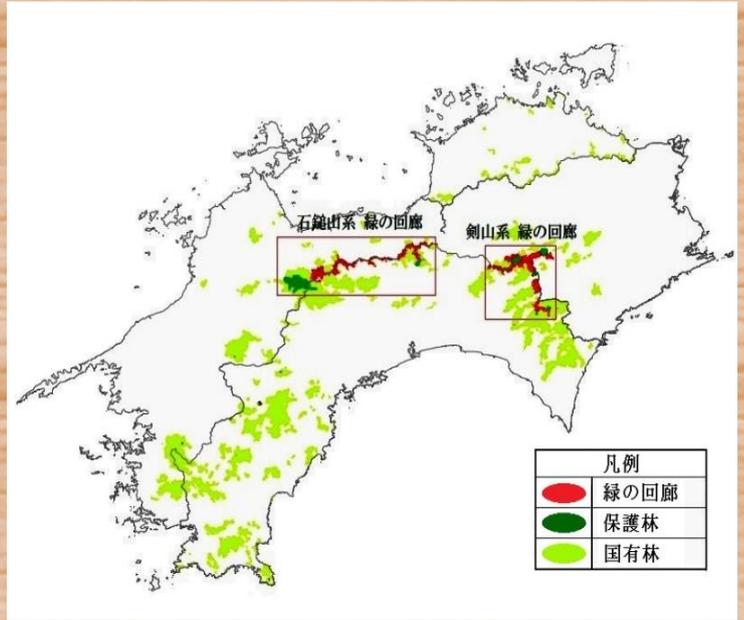
特に優れた自然環境を有する国有林 21ヶ所 6,054haを「保護林」として設定しています。

小田深山ブナ(遺伝資源)希少個体群保護林  
(愛媛県西予市、内子町)



## 緑の回廊の設定

野生動物の行動範囲が確保されるよう、石鎚山系から剣山系にわたる 17,054haを「緑の回廊」として保全しています。



## 生物のモニタリング

緑の回廊や保護林においては、カモシカやツキノワグマ等の希少な野生生物の生育・生息実態を調べています。

### 緑の回廊モニタリング調査等で確認されたカモシカ、ツキノワグマ

#### カモシカ



#### ツキノワグマ





## 鳥獣・松くい虫被害への対応

地方自治体や住民の皆さんと連携しながら、ニホンジカや松くい虫などによる樹木への被害の防止、被害地の回復に取り組んでいます。

### 小型囲いわなの開発・普及

四国森林管理局が開発した小型の囲いわなを普及しています。



こじゃんと1号  
(左)と  
こじゃんと2号  
(右)

小型囲いわなの  
普及・支援のた  
めの説明会



### 松くい虫の防除

松くい虫被害の拡大を防ぎ貴重なマツ林を保全するため、被害木の伐採、薬剤散布を行っています。



松くい虫防除（香川県高松市）



## 「国民の森林」<sup>もり</sup>としての管理経営

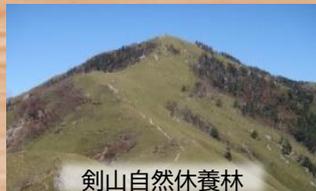
景観の優れた森林やキャンプ・スキーなどの野外活動、自然観察などに適した森林を「レクリエーションの森」として設定しています。また、森林環境教育を実施しています。

### 日本美しい森

「レクリエーションの森」の中でも、特に魅力的で観光資源として活用が期待される森林を「日本美しい森 お薦め国有林」として、四国局管内では5箇所が選定されています。



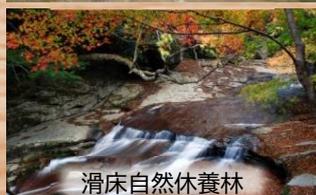
石鎚風景林



剣山自然休養林



工石山自然休養林



滑床自然休養林



千本山風景林



※日本美しい森 お薦め国有林

### 森林環境教育の推進



自然再生の取組を説明



木工教室を開催



# 森林・林業に係る技術の普及と人づくり

国有林で長年培われてきた技術や先進的な技術を広く普及するとともに、森林・林業経営を担う人材の育成に取り組んでいます。

## 現地検討会の開催による技術普及

当局職員のみならず、林業事業者の育成や、市町村林務担当者のスキルアップに向け、現地検討会を開催しています。

列状間伐に関する現地検討会



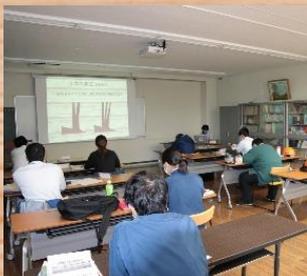
ナラ枯れ被害防止対策現地検討会



## 市町村の林務行政への技術的支援

「市町村林業担当者実務研修」を実施しています。

また、「市町村への支援ツール」として、局・署等が実施できる技術支援の事例集を配布しています。



市町村林業担当者実務研修

森林・林業の課題の解決を応援します  
～市町村への支援ツール～



市町村への支援ツール



## 将来の森林・林業を担う人材の育成

林業関係学科のある高校、大学校、大学等を対象に、当局職員の講師派遣や、国有林の実習フィールドとしての提供、インターンシップの受入れ等を行っています。

高知県立林業大学校下刈り実習



愛媛大学インターンシップ



## 森林総合監理士活動の推進・活性化

地域林業の課題解決、市町村の林務行政への技術的支援を行う森林総合監理士（フォレスター）のスキルアップを目的として、優良事業地における現地検討会や情報交換を行っています。



令和3年度の意見交換会（嶺北署管内）

# ❁ 四国森林管理局の歴史

江戸時代

当時の土佐藩などが所有していた藩有林が現在の国有林の前身。  
土佐藩では、木材資源を保護育成するために樹木の伐採を一切禁じた「留山」（とめやま）と呼ばれる制度があり、千本山保護林（安芸署）や白髪山保護林（嶺北署）などは、今でも当時の森林が大切に保存されている。

明治2（1869）年

版籍奉還。翌年の社寺上地処分と併せ、明治政府が幕府・各藩や社寺の所有していた森林を引き継ぎ、「官林」と称されることになる。

明治15（1882）年

「高知山林事務所」を設置。

明治19（1886）年

林区署官制公布により  
高知大林区署、愛媛大林区署を設置。

明治36（1903）年

愛媛大林区署を廃止し、高知大林区署に統合。

大正13（1924）年

高知大林区署を高知営林局に改称。

昭和39（1964）年

高知営林局庁舎落成。  
（現在も四国森林管理局庁舎として使用）

平成11（1999）年

高知営林局を四国森林管理局に、営林署を森林管理署、事務所及び局直轄の森林管理事務所に組織再編

平成16（2004）年

国有林野事業の抜本的改革の集中改革期間終了。  
6森林管理署、1森林管理事務所体制に組織再編、  
四万十川森林環境保全ふれあいセンターを設置

平成25（2013）年

国有林野事業を一般会計に移行。四万十川森林環境  
保全ふれあいセンターを四万十川森林ふれあい推進センターに改組。



高知大林区署新庁舎（大正5年落成）



現・四国森林管理局庁舎



千本山保護林  
（昭和初期・魚梁瀬営林署）



伐採作業  
（大正10年・本山営林署）



植付作業  
（昭和26年・魚梁瀬営林署）



下刈作業  
（昭和28年・野根営林署）



伐採作業  
（昭和39年・本山営林署）



杣角  
（大正10年・魚梁瀬営林署）



修羅出し  
（昭和26年・高知営林署）



森林鉄道  
（大正～昭和初期・魚梁瀬営林署）



製品事業所の一コマ  
（昭和40年代・安芸営林署）

猪伏の大トチ(トチノキ)  
愛媛県久万高原町



国民の森林・国有林

林野庁  
四国森林管理局

〒780-8528 高知県高知市丸ノ内1-3-30  
TEL 088-821-2160 企画調整課



※四国森林管理局

名称	所在地	電話番号
徳島森林管理署	〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1	088-637-1230
香川森林管理事務所	〒761-8064 香川県高松市上之町2-8-26	087-866-6622
愛媛森林管理署	〒791-8023 愛媛県松山市朝美2-6-32	089-924-0550
四万十森林管理署	〒787-0003 高知県四万十市中村丸の内1707-34	0880-34-3155
嶺北森林管理署	〒781-3601 高知県長岡郡本山町本山850	0887-76-2110
高知中部森林管理署	〒781-4401 高知県香美市物部町大栃1539	0887-58-3131
安芸森林管理署	〒784-0044 高知県安芸市川北乙1773-6	0887-34-3145
森林技術・支援センター	〒780-8528 高知県高知市丸ノ内1-3-30	088-821-2250
四万十川森林ふれあい推進センター	〒787-1602 高知県四万十市西土佐西ヶ方586-2	0880-31-6030